



<http://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

平成30年2月



春実感!「第43回JA植木まつり」

■今号12ページ 主な内容

- 祈願祭及び仕事始め式
 - 県農業コンクール大会表彰式
 - 生産各部会の生育・出荷・査定会・総会等の動き
 - 「オートサービスセンター・阿蘇町農機センター」オープン
- 今号も話題と情報を満載!!



●/△ 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088

地域社会に貢献できるJAを目指し、役職員一丸となって職務遂行を!

1月6日、「祈願祭および仕事始め式」が本所駐車場で行われ、役職員ら約100人が参加しました。

神事が厳かに執り行われた後、原山寅雄組合長は挨拶で「昨年を振り返り、台風など大きな自然災害はなかったものの、天候不順により農産物の生育に影響が生じ、収量、品質の低下などが見られましたが、組合員のご理解・ご協力、役職員の努力により輝かしい新年を迎えられたことに感謝します。本年は平穏な一年でありますよう願うとともに、復旧・復興、TPP、農協法改等様々な困難を組合員と共に『自助・共助・公助』により乗り越え、地域になくてはならない存在になれるように、自信をもって職務遂行してほしい」と職員を激励しました。



仕事始め式で決意を述べる原山組合長

平成30年「祈願祭・仕事始め式」

平成29年度 熊本県農業コンクール大会 JA阿蘇管内から4個人・団体を表彰



平成29年度(第58回)熊本県農業コンクール大会表彰式が1月26日、ホテル熊本テルサで開会されました。浦島郁夫県知事らの主催者挨拶が行われた後、「経営体」「新人王」「地域農力」各部門及び「地域貢献賞」等の表彰が行われました。JA阿蘇管内各部門の受賞者は次の方々・団体です。(敬称略「主な品目・取組内容」は大会資料による)

◇「経営体部門」優良賞

(旬やまうち農産(阿蘇市) 山内幸一)

【主な品目・取組内容】肉用牛繁殖・水稻作業受託、繁殖牛・大規模作業受委託による大規模水田法人経営を確立。イネWCSへの先進的な取り組みが地域へ波及。放牧による耕作放棄地の解消、分娩前後の徹底管理により分娩間隔380日を達成。

◇「新人王部門」優良賞

鰐川雄太・裕子(阿蘇市)



「経営体部門」優良賞の山内社長(左)

【主な品目・取組内容】夏秋トマト・水稻、阿蘇の風土に可能性を感じ、県外から身一つで新規参入。地元の篤農家から栽培技術を学び、軌道に乗ってきた。就農10年で1000万円の農業所得が目標。



「新人王部門」優良賞の鰐川夫妻

◇「地域農力部門」優良賞

喜多いきいきくらぶ(南阿蘇村) 代表 高島和子



「地域貢献賞」受賞の田上求さん

◇「地域貢献賞」

田上 求(高森町)

【功績・功労の実績】高森町農業委員会会長として、耕作放棄地解消や「農事組合法人くさかべ」結成を支援。また、高森町担い手育成総合支援会長として、認定就農者の支援等にも尽力。



「地域農力部門」優良賞の喜多いきいきくらぶ表彰の様子

【主な品目・取組内容】無農薬無肥料栽培により酒米「山田錦」を生産し、地元や福岡の蔵元に高単価で販売。味噌ワークショップ、酒粕レシピづくり等を通して地産地消を推進している



『より良い新年を迎えてほしい』
仮設団地へ「門松」を贈る
青壮年部



門松作りに精を出した青壮年部盟友

「仮設団地から喜びの声を頂いた！」
青壮年部は昨年12月22日、熊本地震により管内13カ所に設けられている仮設団地へ、手作りの門松を寄贈しました。この取り組みは地震から1年半以上が経つものの、未だ我が家で正月を迎えることの出来ない入居者に、少しでも正月気分を味わってもらいたいという思いが活動の動機となりました。

地震直後は盟友も我が家の復旧・復興が第一となり、何も対外的な活動が出来ませんでした。が、今年(平成29年)になり一段落し、何か自分たちにも出



来ることはないかと検討した結果、門松を作り贈ることにしました。
門松はすべて地元阿蘇産の材料を使用し、当日は朝からJA阿蘇中部野菜選果場で土台作りをした後、各盟友の車で輸送し、各仮設団地で飾り付けをしました。
門松を贈られた住民らは「しめ縄も作る暇がなかった。お陰様で良い年を迎えそうです」と喜びを語っていました。橋本龍生青壮年部長は「地元の農業者として少しでも地域に貢献したかった。南天の実を飾ったのも、難(なん)を転(てん)ずるという意味合いも込めて、熊本地震からの復旧・復興を祈願し寄贈させていただきました」と話していました。



門松が贈られ、喜びの仮設団地の
皆さんと青壮年部盟友



門松の素材はすべて地元阿蘇産
より良い新年を願い、一つ一つ
心を込めて手作りました



生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの動き

でっかい「恋みのり」出荷本番へ
いちご部会

「恋みのり」の平詰パック

管内では、新年に入って2017年度産より本格的に導入を行っているイチゴ品種「恋みのり」の出荷が本番を迎えました。「恋みのり」は生産管理面での省力化、早期収量性や食味に優れており、果実揃いが良く、最盛期になるにつれて大玉率が上がるという特徴があり、他品種に比べ生産者に栽培メリットの多い品種となっています。現在、管内での「恋みのり」作付面積は3.3ha（前年比1321%）で、今後も作付拡大を目指しています。

営農部園芸課の江藤秀晃職員は「恋みのり」は収量性・品質も高く、市場より高評価を得ている。従来との品種と比較して省力化ができ、面積の維持・拡大

が図れることが良い。今後は、品種の普及にあたり阿蘇地域での栽培マニュアルの作成及び特性を活かした販売を目指したい」と熱く語っていました。出荷ピークは3月から4月で、6月中旬まで出荷を予定しています。

昨年11月「出荷査定会」開催
いちご部会

いちご部会は昨年11月22日、阿蘇市内で2017年度いちご出荷査定会を開催し、生産者・行政・JA・市場関係者ら70人が出席しました。

大津部会長は挨拶の中で、「毎年厳しい生産情勢が続いている。生産者一丸となつて秀品率向上、出荷増に向け、計画以上の結果が出せる年にしよう」と熱く意気込みを述べました。

本年度産の品種別生産は、さがほのか5.7ha（前年比58%）、恋みのり3.3ha（同1321%）、ゆうべに3ha（同223%）となっており、生産者数47戸（同）、

販売高6億円（実績比110%）を計画しています。

管内にあるJAパックセンターでは、管内部会のイチゴを一括で集荷を受け入れているため、品種別に品質の統一化が図られ販売の強化に繋がっています。同時に消費地ニーズに対応出来るレギュラー詰以外の規格にも取り組んでおり、品質・付加価値の高いアイテムの増産による更なる単価アップへ繋ぐ販売を狙う方針です。

営農部園芸課の江藤指導員は（取材時）、「本年度産については、定植後から天候不順による影響が多々あり、厳しい生産環境となった。年内出荷においても低温の影響により厳しい状況が続いているが、品質は申し分ない」と話していました。



写真右上＝「出荷査定会」会場の様子
写真上＝パックセンター作業の様子
写真下＝販売促進のツール類



新年に翔ける！

目指すは年収3000万円
南阿蘇村 山室大地さん（30歳）



山室さんは「阿蘇の農業を盛り上げたい」と思い、5年前に就農しました。新年に翔ける決意は「常にチャレンジ精神を持ち、魅力を感じるような農業経営を目指していくことです」。

【経営内容】ミニトマト30a、花卉10a、ブロッコリー1ha、労働力は本人＋パート3人（常時雇用）

生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの動き

アスパラ部会「総会」
反収アップや安全安心な生産への
取り組みなど『基本方針』を確認


生産者ら約100人が出席したアスパラ部会総会の様子

アスパラ部会は12月5日、阿蘇市で2017年度総会を開きました。

当日は生産者をはじめ関係者ら100人が出席しました。山部修部会長は冒頭に「阿蘇アスパラガスを待っている消費者のためにも、安全安心な品物を生産者一丸となつて作って、安定した数量を消費地に届けていきたい」と決意を述べました。

議事では2017年度事業報告等9

議案が承認、可決されました。

2017年産について生産面では、栽培管理のポイントとなる時期の栽培管理講習会、販売面では県内市場で仲卸業者等への試食宣伝会など、県内外の消費者へ安全安心な阿蘇のアスパラを届けることが出来たことなどが報告されました。2018年産については「反収アップ、安全安心な生産への取り組み、販促キャンペーンによる産地と消費地との情報交換強化」など基本方針として確認しました。特に安全安心な生産出荷のために、出荷期間通しての残留農薬自主検査、生産者への農薬使用講習会など昨年以上に力を入れて取り組んでいきたいとしています。

アスパラ部会「出荷反省会」
成績優秀者表彰も行う

アスパラ部会は12月5日、生産者ら120人が出席し2017年産出荷反省会を阿蘇市で開きました。

当日は2017年産の販売実績報告や情勢報告があり、2017年産成績優秀者表彰も行われました。

山部修部会長は「今年は天候に悩まされた一年だったが、生産者一人一人の努力があり、出荷数と販売額ともに積み上げが出来て感謝していま

す」と挨拶。出荷反省会では、販売実績報告のほかに栽培管理上の反省点及び改善点について担当の後藤真智指導員より説明が行われました。

2017年産については地区別の講習会に加え、技術レベル別の栽培管理講習会を実施し、栽培管理の基礎部分を固める取り組みを確認しました。また、部会での初めての試みとして、出荷容器内の水滴除去にキッチンペーパーを使用、好評を得たことも報告されました。昨年より実施している出荷市場へアンケート調査では、市場担当者の思いを生産者に伝えるために、あえて担当者直筆のメモを切り貼りして生産者に示したことで、各市場における課題がより分かりやすくなり、課題を整理していくことが、今後の新たな販売展開へ繋がると期待されています。2017年産における出荷実績は、

出荷数量603万7056束（前年比86%）、販売金額6億8848万4370円（同94%）、平均単価114・0円（同109%）。成績優秀者は次（敬称略）の方々です。

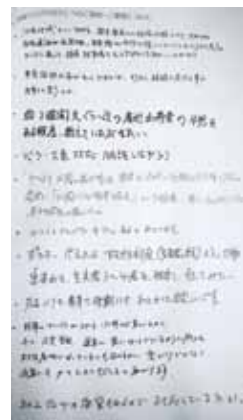
▽JA表彰（総販売高部門）▽笹原順子▽部会表彰（総販売高部門）▽西村豊治、田上博康、古澤博幸▽部会表彰（栽培技術部門）▽室治夫、山部修、佐藤春生

栽培管理の基本を再確認
生産者のレベルアップ勉強会

アスパラ部会は1月10日、栽培技術レベルアップ勉強会を中部営農センターで開きました。勉強会は生産者の栽培技術向上を目的に今年より初めて行われ、月1回のペースで基本的な栽培技術を確認しながら開かれる予定です。同部会では生産者の技術格差に大きな開きがあり、産地の平均反収も2tと低く課題となっています。

後藤真智職員は「基本的な栽培管理を月毎に確認し、優良生産者の事例などを交えた情報を繋いでいくことがレベルアップに繋がる」と意気込みを語り、生産者も「改めて基本の確認が出来るため、今後も参加していきたい」と話していました。さらに阿蘇地域振興局農業普及・振興課と協力し「阿蘇地域アスパラ栽培マニュアル」を作成することを目標としています。

（市場担当者の直筆によるアンケート結果）



生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの動き

白水ミニトマト部会
「総会及び出荷反省会」
情報発信の充実で販売強化を

挨拶をする甲斐敏一部会長(取材時)

白水ミニトマト部会は12月12日、南阿蘇村で2017年度総会及び出荷反省会を開き、生産者ら40人が出席しました。総会では2017年度事業報告等4議案が承認、可決されました。

甲斐敏一部会長は挨拶で「台風等の気象条件に悩まされる一年だったが、最後まで消費地に美味しいミニトマトを届けることができた」と述べました。

同部会では2017年産の生産面において、土壌分析を基本とした施肥改善、販売面においては効果的な販促活動及び青果物コントロールセンターとの連携などに取り組みました。

2018年産基本方針としては、産

地間交流や青果物コントロールセンターとの連携強化などを行い、部会や女性部の研修による部会育成についても取り組んでいくことを確認しました。

2017年産実績は、出荷数量81万2426パック(1パック200g/前年比100%)、販売金額1億1790万8千円(同94%)、平均単価145円(同94%)となっており、役員改選では次の方々(敬称略)が選任されました。

▽部会長 下田剣太郎▽副部会長 後藤光浩▽会計書記 興梠政純▽監事 甲斐敏一

中部ミニトマト部会
「総会及び反省会」
夏秋ミニトマト好実績で終了

挨拶をする中部ミニトマト坂田部会長

中部ミニトマト部会は12月12日、2017年度総会及び反省会を阿蘇市で開き、部会員や行政・市場・JA関係者ら40人が出席しました。

2017年度産は、生産面積2.9ha(前年比88%)、生産者18人(同90%)、出荷数量1ケース 3kg 5万3千ケース(同102%)、販売額8395万円(同94%)、10a反収重量5.37t(同117%)となり、生産面積及び生産者数は減少となりましたが、好実績での終了となりました。

坂田部会長は「今シーズンも厳しい生産環境の中、前年を上回る出荷量となり部会員の皆様には感謝申し上げます。次年度も生産対策面の強化や更なる安全・安心な品物の供給に向け頑張ります」と挨拶しました。市場関係者からは「御当地の3kgバラ詰め規格については、業務用の需要が最も多く、中卸のアイテム調整がしやすい。3kgバラの全体的な入荷が減ってきている中、数量が増えたことはありがたい」と高評価の声が聞かれました。

次年度も新規就農者の部会加入が予定され、更なる産地作りを目標に生産者一人一人が生産意欲向上を掲げていました。

中部トマト部会「2017年度総会・反省会」
厳しい環境化、生産者の努力実る!

中部トマト部会は12月21日、2017年度総会・反省会を阿蘇市内で開き、生産者・行政・市場・JA関係者ら約150人が出席しました。

竹原輝一部会長は「本年度は大きな災害等もなく無事シーズンが終了できたことに感謝する。販売状況が厳しい時期もあったが、生産者や関係機関の協力により好成績の年となった」と二年を締めくくる挨拶をしました。

2017年度は生産者数149人(前年比98%)、面積39.6ha(同102%)、出荷重量4044t(同108%)、販売金額12億円(同104%)と優良な実績で終了しました。

部会では、新規就農者の加入や後継

生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの動き

※前ページより続く

者により若手農家が增加傾向であるため、生産面積及び反収増に繋がっています。

営農部園芸課の宮崎大智指導員は生産報告で「本年度も夏場の猛暑の影響で、栽培管理が非常に難しい環境となった。産地としての対策を考えなければならぬ」と今後の課題を述べました。総会では表彰も行われました。

▽総販売高部門Ⅱ 斉藤孝幸▽栽培技術部門Ⅱ 山内孝志、塩貝怜、後藤修、岩下幸史、村上義彦(敬称略)



前ページ写真＝中部トマト部会総会・反省会会場の様子
写真上＝中部トマト部会表彰の様子

南部なす部会 「2017年度出荷反省会」 品種変更で秀品率が大幅アップ

南部なす部会は12月18日、高森中央支所で出荷反省会を開き、生産者ら30人が出席しました。

17年度はヒゴムラサキ2号への品種変更により、夏場の高温時期にも色落ちせず秀品率が大幅にアップ。市場担当者も「他の品種に負けることなく、味と品質の両面で前年からの向上が見られた」と話していました。生産面では天敵昆虫の新たなタバコカスミカメを導入し、より安全安心な栽培に取り組みました。販売面では効果的な販促活動及び青果物コントロールセンターとの連携に取り組みました。

2018年産基本方針としては、産地間交流や青果物コントロールセンターとの連携強化などを確認しました。

本田寅雄部会長は「ヒゴムラサキ2号により品質は確実に向上しているもので、今後も徹底した栽培管理で高品質の品物を消費地に届けていきたい」としています。17年産実績は出荷数量3万2641ケース(1ケース7kg)(前年比102%)、販売金額5512万4千円(同95%)、ケース平均単価1689円(同94%)となっています。

切り花用葉牡丹

雨よけ栽培により高品質



蘇陽地区では2016年から栽培されている切り花用葉牡丹(品種「晴姿」と「初紅」)の出荷が、12月18日から26日の間で約4000本(前年比130%)が九州市場へ出荷されました。

2017年は前年の反省点を活かし、雨よけ栽培を徹底したことで高品質の出来栄となりました。同地区での切り花用葉牡丹導入は、市場担当者より「平坦地では気温が高く、思った色合いが出ないため高冷地での産地を作りたい」という意向から始まりました。販売担当の上田裕樹職員は「施肥量や株間については見直す必要があるため、次年度への課題として整理して更により良いものを目指していきたい」と話していました。

生産者の佐藤勝敏さんは「シーズンの終わりで霜害を受けた株もあり、来年は株作りを徹底し、更なる品質向上を目指していきたい」と抱負を語っていました。(写真上Ⅱ出荷作業をする佐藤勝敏さん)

贈答に大好評！赤土育ち自然薯 久木野自然薯部会



久木野自然薯部会の2017年産自然薯出荷が12月上旬より本格的に始まり、年末にかけてのお歳暮商材(1箱2000円～6000円程度)として好評を得ました。

同部会では20数年前から自然薯の栽培を始め、高品質で粘りのある自然薯は固定客を増やしてきました。栽培方法はパイプの中に赤土を入れ、自然に近い状態で栽培を行うことで安定供給にも努めています。近年、県内外の消費者からの注文も多くなり、遠くは関東からも注文が寄せられ、毎年リピーターが増えてきています。(写真Ⅱ箱詰で出荷される久木野自然薯)

JA阿蘇 スマイル

阿蘇町中央支所金融課融資係

古澤 秀樹 (32)



現在、入組13年目で融資を担当しています。新規就農者や営農事業に関する資金調達などに、少しでもお役に立てればと、日々業務に取り組んでいます。

今後も地域に根ざし、地域の方々から必要とされる組合組織であるとともに、その組織を支える一人として精進していきます。

南部キャベツ部会総会 「安全安心なキャベツを食卓へ」

南部キャベツ部会は12月23日、2017年度総会を高森中央支所で開き、生産者ら20人が出席しました。総会に先立ち、奈須正美部会長が「自然災害に悩まされることが多いが、阿蘇のキャベツを心待ちにしている消費者がいるので、生産者一丸となって頑張っていきたい」と挨拶しました。

総会では2017年度事業報告など3議案が承認されました。同部会は産地情報を迅速に市場へつなぐ有利販売に取り組んでおり、市場担当者も早めの情報提供に期待をしています。

指導販売係の甲斐亮太職員は「今後とも生産者の手取りアップになることを考え、行動していきたい」と抱負を語っていました。

JA阿蘇「オートサービスセンター

・阿蘇町農機センター」オープン!

「オートサービスセンター・阿蘇町農機センター」の開所式が1月23日に行われました。開所式には組合長をはじめ、関係者40人が出席しました。これまでの阿蘇町車輛センターと一の宮車輛センターを統合し、オートサービスセンター(旧阿蘇町農機車輛センター)へ新設しました。

また、これに伴い阿蘇町農機センターを、旧阿蘇町野菜センターへ移設しました。今後とも、皆様のご利用お願い申し上げます。



写真は、いずれも業務の安全と繁栄を祈願して行われた開所式の様子



自己改革研修会 職員が改革内容を学ぶ



JAの綱領を唱和する職員

1月16日、阿蘇市で職員350人を対象に自己改革についての研修会を開きました。

原山組合長は冒頭に「地域に認められ、なくてはならない存在になるためのJAを目指し、役職員一丸となり『自助・共助・公助』の精神でこの局面を乗り越えたい」と決意を述べました。

研修会の講師を務めたJA熊本中央会地域くらし広報部の本田部長は「JAが地域にとって必要であると認められるためには、役職員による働きかけが重要であり、積極的に組合員や

地域住民と対話の場を設け、理解促進に取り組むことが必要である」と語り、農協改革の経緯とこれからの取り組み内容について説明をしました。

職員は今後の取り組み課題点などについてメモを取るなどし、改めて自己改革内容を再認識しました。



JA熊本中央会の本田部長の講義



決意を述べる原山組合長

未来塾修了レポート発表会 『まるごと阿蘇ナレッジベース』 と題して研修成果を発表 岩下龍二職員(阿蘇町中央支所)



JA熊本中央会が主催する「JA戦略型中核人材育成研修会『未来塾』」の修了レポート発表会が1月12日、JA熊本教育センターで行われ、阿蘇町中央支所購買課購買係の岩下龍二職員が研修の成果を発表しました。

この研修会は、今後のJA運営を担う中核となる人材を継続的に育成することを目的に行われており、各JAから推薦された研修生12人が様々な

考え方やノウハウを身に付けるため、昨年5月から9回、延べ24日間の研修を受けてきました。

当日は各JAの常勤役員や上司などが出席する中、各自7分間ずつのプレゼンテーション形式で行われ、研修生はパワーポイントを使い、JAがとるべき戦略やその実践具体策を力強く発表しました。

岩下職員は『まるごと阿蘇ナレッジベース』と題して、農業用資材の検索や経験及び知識の少ない職員の作業効率化アップ等、今後、JAとしてどう取り組んでいくかについて発表しました。



写真上 研修成果発表の様子

写真右 各JAからの研修生、右から

2人目が岩下職員

平成30年2月

クミアイプロパンガス利用者 各位

阿蘇農業協同組合

いつもクミアイプロパンをご利用いただき、誠にありがとうございます。
平成30年2月検針分からのLPガス料金を以下のとおりお知らせします。

【一般料金】 (税別)

基本料金(円)	使用量区分	従量料金単価(円/㎡)
1,500	0.1 ㎡～ 10.0 ㎡	590
	10.1 ㎡～20.0㎡	490
	20.1 ㎡～	430

※平成30年2月1日改定

【基本料金】

LPガスを使用しなくても毎月定額(供給設備費・施設点検・検針費用等)でお支払いいただく料金です。

【従量料金】

LPガスの使用量に応じてお支払いいただく料金です。

【LPガス使用量による料金例】(参考) (税別)

使用量	料金(円)	計算方法
5.0 ㎡	4,450	基本1,500+従量(5×590)
10.0 ㎡	7,400	基本1,500+従量(10×590)
20.0 ㎡	12,300	基本1,500+従量(10×590)+(10×490)

●LPガス料金の仕組みについて

毎月のガス料金＝基本料金＋従量料金(従量料金単価×使用量)＋消費税8%

(例)10.0㎡ご使用の場合 7,922円(税込)

内訳)基本料金 1,500円＋従量料金(10㎡×590円)＋消費税592円

※詳しくは最寄の各ガスセンターへお問い合わせください。

【お問合せ先】

北部LPガスセンター	中部LPガスセンター	南部LPガスセンター
南小国町赤馬場1909-3	阿蘇市狩尾790-3	阿蘇郡南阿蘇村久石2638-5
TEL 0967-42-0720	TEL 0967-32-4424	TEL 0967-67-2520
[小国郷]	[一の宮・産山・波野・阿蘇町]	[西原・蘇陽・高森・阿蘇南(久木野・白水・長陽)]

理事会・監事会報告

■平成29年度第12回理事会

日時 平成29年12月15日午後3時00分

場所 リバーサイドホテル熊本

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(総務専門委員会・債権管理委員会・金融共済専門委員会)

11月末実績報告について

平成29年度上期決算監事監査報告書について

1) 平成29年度下期余裕金運用計画について(案)

2) 固定資産減損会計グルーピングの見直し(案)について

3) 平成29年度全国監査機構期中改善指示書に対する
回答書(案)について

4) 資産査定要領の改正(案)について

報告事項

1) 平成29年度余裕金運用状況(9月末)について

2) ATM利用件数の実績(11月末)について

3) 平成29年度導入家畜等棚卸監査実施要領について

4) 平成29年度自主検査結果報告(7月～9月)について

5) 平成29年度JA共済コンプライアンス点検結果について

6) 平成29年度産米集荷実績(11月末)について

7) 年末年始の業務等について

8) 年末年始休日の緊急連絡先について

9) 仕事納めに伴う支所巡回並びに新春の年賀について

10) 金融部門の中央支所別損益状況について

11) その他

4. 閉会

■平成29年度第13回理事会

日時 平成30年1月30日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会)

12月末実績報告について

1) 平成29年度上期決算監事監査回答書(案)について

2) 「生活応援キャンペーン春2018」の実施に伴う
キャンペーン金利の設定について(案) 〆

3) 農業生産資金(農機具購入)および

農機ハウスローン金利設定について(案)

4) FinTech企業等との連携及び協働に係る方針の決定について(案)

5) 出資金減口について

6) 固定資産取得について(案)

7) 固定資産取得委員会委員の選任について(案)

報告事項

1) 県域ローンセンター媒介業務実績(H29年12月末)について

2) 内部監査実施状況報告書(平成29年10月～12月)について

3) 平成29年度決算監査(期中Ⅲ「資産査定等」)の実施について

4) 内部監査に関する内部評価結果についての報告書について

5) 平成29年度産米最終集荷実績報告について

6) 平成29年度農政連会費等徴収実績報告について

7) LPガス料金の見直しについて

8) 平成29年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの

進捗状況(平成29年12月末)について

9) 不祥事未然防止の為の行動計画部署別進捗管理個票報告

(29年12月末現在)について

10) JA阿蘇活動総合3ヶ年計画の29年12月末進捗状況について

11) 理事の辞任について

4. 閉会

●平成29年度第12回監事会

日時 平成30年1月22日午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

1) 平成29年度導入家畜等棚卸監査実施要領について

2) 平成29年度全国監査機構期中監査回答書に対する

監事の意見書について

報告事項

①常勤監事業務報告について

②常勤会議・参加研修会等報告について

③不祥事再発防止策内部監査実施状況報告書について

(平成29年10月～12月)

④平成29年度期末監事研修会について

⑤行事予定について

4. 閉会

J A 阿蘇職員異動のお知らせ (平成29年12月11日発令)

氏 名	新 辞 令	旧 辞 令
木下 伸一	阿蘇町農機センター長(課長待遇)	阿蘇町農機車輛センター長
小島 一夫	阿蘇オートサービスセンター所長	一の宮車輛センター長
山内 慶三	阿蘇オートサービスセンター主任	阿蘇町農機車輛センター車輛主任
小林 弘成	阿蘇オートサービスセンター係	一の宮車輛センター車輛係
園田 隆二	阿蘇オートサービスセンター係	阿蘇町農機車輛センター車輛係
本田 聡	阿蘇オートサービスセンター係	一の宮車輛センター車輛係
高藤 優賢	阿蘇オートサービスセンター係	阿蘇町農機車輛センター車輛係
小茂田孝博	阿蘇オートサービスセンター係	一の宮車輛センター車輛係
堀 克史	阿蘇町農機センター農機係	阿蘇町農機車輛センター農機具係
井野 敬介	阿蘇町農機センター農機係	阿蘇町農機車輛センター農機具係
榮 史典	阿蘇町農機センター農機係	阿蘇町農機車輛センター農機具係
横田 健生	阿蘇町農機センター農機係	阿蘇町農機車輛センター農機具係
松尾 彩	阿蘇町農機センター農機係	阿蘇町農機車輛センター農機係
佐藤 貴弥	阿蘇町農機センター農機係	阿蘇町農機車輛センター農機具係

「JA阿蘇きらり」



支所名＝波野支所

所属部署＝一の宮中央支所購買課波野購買係

いとう たつお
伊藤 達男

★趣味＝映画鑑賞

★一言コメント＝まもなく入組3年目となります。
より組合員の皆様に貢献できるよう頑張ります。



支所名＝高森中央支所

所属部署：高森中央支所購買課購買係

ならぎ の ゆうや
檜木野 友哉

★趣味＝読書

★一言コメント＝組合員から信頼される職員になれるように頑張ります。

JA阿蘇イラスト違い探し「阿蘇山の野焼き」

(出題：イラストレーター みやたまゆき)

左右2枚のイラストには、違っているところが5か所あります。探してみてください！



※答えは11ページにあります。